

# 特集

## つがる市「クレーター」騒動記<後編>

### ～現地では何が起こっていたのか～

甲田昌樹（青森県）

#### 6. 夢は終わらない？（4月1日（土））

「エイプリルフールの日」につき、AstroArtsのWebページに毎年恒例のジョーク記事が載るのですが、今年は、タイミング良く星ナビ5月号が隕石特集だったこともあって、その表紙を使った記事でした。

#### 星ナビ5月号は「ステラレナイメージ8」と「速報！津軽隕石」

最近ネットやメディアを騒がせた、青森県中津軽郡津軽市の畑に落ちた隕石の発見レポートが緊急掲載！ 隕石は「津軽隕石」と命名された！！

（原文ママ。誤字でウソ記事と分かる。）

まさに、昨日の「つがる市クレーター」の掘り起こしがウソで、実際には専門家による発掘が行われて隕石発見となって欲しかったと思ったものでした。

そんな4月1日のお昼過ぎに、つがる市クレーターの畑の地主さんから電話が入りました。

「東京のテレビ局・テレビ朝日が番組の企画として、東北大学の〇〇教授に依頼して、クレーター跡を再度掘り起こして、今度はレーダーを使って調べ直すことになりました。明日の昼頃から、今度はもっと広く掘り起こします。」（後に〇〇教授は古川助教と判明）

これはまさに、ウソから出たマコトか？ 帰宅後にFacebookで知人に知らせたところ、仙台市の日本流星研究会（NMO）の殿村氏が「それではぜひ行きたいので、クレーターの場所を知らせて欲しい」との申し出があり、GoogleMapで位置を知らせました。また私も、午後に現地に向かう準備を始めました。

#### 7. 4月2日（日）の出来事

仕事を終えて現地へ急行し、到着したのは午後2時過ぎでした。現地では青森市の会員の小田桐さんはじめ、県立郷土館の方、仙台市を朝5時に発ったというNMOの殿村氏、他マスコミの方々が、畑の中ではなく道ばたにいました。聞くと、掘り起こしは午後1時頃から始まったが、その前にテレビ朝日の方と報道協定が行われたとのこと。今回はあくまで番組のための企画なので、当社で報道するまでは画像や映像は使わないように、と。もっとも、地主の息子さんがすでにTwitterにアップしていたそうですが（笑）。



図9 掘り起こしの様子（1）

道ばたに上がってきた地主さんと話をしました。今回の掘り起こしでは、企業体が埋め戻し用の土を提供してくれることになったので、掘った土を会社の敷地に運び、隕石をじっくり探すのだそうです。なお、前回の掘り起こしではクレーター直下しか掘らなかったものを、今回はクレーターの中心から4m四方を掘ったとのこと。テレビ局の経費で掘り起こし直しができ、再び隕石探しができたことで、地主さんはうれしそうに話していました。



図 10 掘り起こしの様子 (2)



図 11 掘り起こしの様子 (3)

クレーター跡地では掘り起こしが続いており、テレビ局のカメラマンが“絵になる”映像を撮ったり、東北大の方が金属探知機で周辺に残った土の中に隕石らしきものが無いか探っていました。

午後 3 時半頃に発掘現場で少し騒ぎが起きました。「隕石発見か？」道ばたで様子を見ていた全員が焔に急行しました。金属探知機が反応を示したそうです！



図 12 掘り起こしの様子 (4)

ところが反応のある場所を確認しようとしたところ、あちこちでピーピーなるようになり、あげくには地主さんの長靴でもピーピーと！ 実は探知機のバッテリー低下による誤作動でした。

数分の相談の後、TV 局のスタッフが近くの、といっても車で往復 30 分ほどの距離にある DIY 店へバッテリーを買いに行き、その後再び調査を行うとのこと。私たちは現地解散としました。

## 8. 現地での出来事と報道について

今回の「クレーター騒動」では、突発的で大きな出来事が起こった時の、SNS での情報伝達のあり方や、マスコミの報道姿勢についていろいろ考えさせられました。

### 8.1 SNS での情報伝達

インターネット全盛の現代では、ネットニュースや SNS の普及により、情報があつという間に伝わるようになりました。

しかし情報の伝達が個人レベルで行えるようになった反面、途中で内容が変質したり、先の情報の訂正や変更が行われてもそれが伝えられなかったりと、情報の伝え方とその内容の扱いには相当な注意が要るようです。

今回の件では私は現地での情報を、自分の Facebook のページで知人に知らせ、国立天文台の縣氏に電話やメールで伝えていました。縣氏は私からの情報や取材のあったマスコミからの情報を自身の Twitter に投稿することで多くの方に情報発信をしていました。

縣氏に寄せられる情報の中には推測のものもあり、それがどこかの時点で事実と変質していました。

地主さんがクレーターの掘り起こしを土日ではなくその前の金曜に行くことになった理由として、TV 局の都合によるというものや、地主さんが早く隕石を見つけなかったから、というものがありません。後でそれは事実でな



図 13 掘り起こしの様子 (5)

いことが分りましたが、私の Facebook ページでは外部には伝わりません。懸念した私の知人が誤報を伝えるために、Twitter まとめサイト Together に記事を書いてくださいました [2]。

## 8.2 マスコミでの情報伝達

マスコミの報道傾向で事実を煽るように報じるのはよくありますが、別々の情報を関連するようにストーリーを作って報じるという、誤った行為もよく見られます。

今回の件では、3月13日に初めて土の盛り上がりを見出し、17日にクレーターであることが判明した後のTV取材で地主さんが

「12日頃の朝8時頃に、ピカッと光って、2～3秒くらい経ってからドーンという大きい音がした」

と語り、TV局ではそれを隕石の落下の証拠であるかのように、12日夕方に北海道と十和田市で火球が観測されたとの情報と並べて報じていました。さらに別の局では「13日朝8時前後にピカッと上空が光り、畑に行ったら穴が開いていた」と、あたかも12日夕方の火球と関係があるかのようにストーリー立て

て報じていました [3]。

またTV局が地元気象台に問い合わせ、「その地域でその日に落雷は無かった」と報じていましたが、後日に私が別件で問い合わせると、気象台では職員の観測をもって記録としている、とのことでした。なので、「落雷は無かった」のではなく、「落雷は観測されていない」の範囲だった訳です。もっともこの違いをニュースの短い言葉で説明するのは容易ではないと思われるので、ニュースでは「報じない」ことが賢明だったと思います。

## 9. 隕石が発見されたその後

青森県には、1984年6月30日に青森市の印刷所の玄関先に“落下”した「青森隕石」と、1997年4月頃に十和田市で石の愛好家が“発見”した「十和田隕石」があります。「青森隕石」は青森県立郷土館で、「十和田隕石」は十和田市民文化センターで展示されています。「青森隕石」が、青森市ではなく青森県の施設に展示されるようになった経緯は分かりません。「十和田隕石」は十和田市へ寄贈されました。

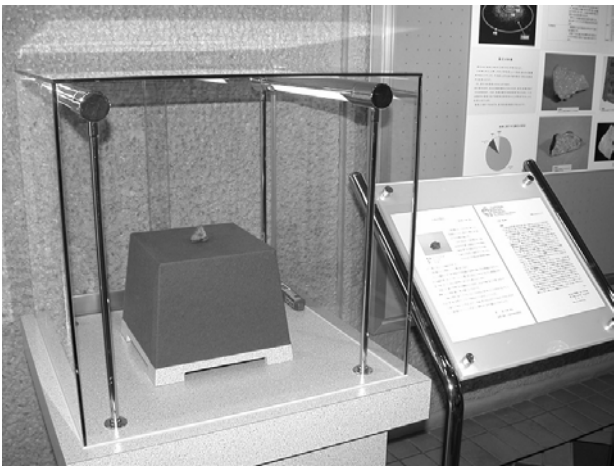


図 14 十和田隕石の展示状況

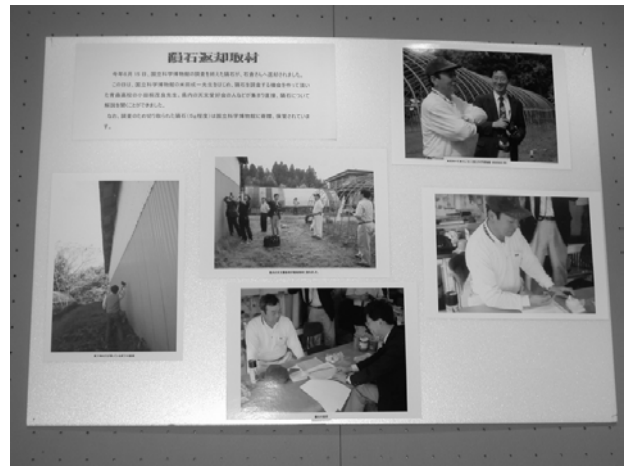


図 15 十和田隕石の解説ボードの 1 枚

十和田隕石が国立科学博物館で調べられ、隕石の所有者に返却と調査報告された場を私も同席取材しました（その内容は「星ナビ」2001年9月号に掲載）。その際に所有者の方は、「とんでもないモノを拾ったもんだ」と明らかに困惑した顔をしていたのが印象的でした。その方が今後また隕石を見つけても、それを秘密にしているであろうことは、容易に想像できました。

その隕石は十和田市へ寄贈されましたが、当時の市の職員の知り合いによると、寄贈された市の側では扱いに困ったと言います。それでもなんとか市議会で予算が付けられ、文化センターで展示することになりました。

しかし、隕石に詳しい人が関わらなかったのでしょうか、せっかく湿度計とシリカゲルを入れた展示ケースは、扉に大きな隙間があって密閉されていません。

隕石の展示場所も、正面入り口からは陰になる場所で、隕石のことを知った人が見に来ても展示場所をすぐには見つけられません。（青森県立郷土館では、青森隕石は見学順路の最初にあり、すぐ分かる。）

また常設の解説文は、市作成の説明文と科博から送られた報告書の、A4の紙2枚だけで、展示始めにせっかく作った詳しい解説ボードは倉庫の奥にしまわれたままです。

## 10. 今後、隕石が見つかった時のために

今回の「つがる市クレーター」騒動を目にし、また十和田隕石の扱われ様を見聞きした私としては、隕石やクレーターがどれほど貴重で保存が必要なのか詳しいことは分かりませんが、それを一般の人に伝え、理解・納得していただくことの難しさを感じています。少なくとも、私の会った隕石の所有者はそれを手元に置きたくないと感じ、私有地にクレーターの見つかった方は市や警察やマスコミ対応で、それが形を無くすまで仕事に手がかず、「隕石やクレーターが貴重で保存が必要だ」と求める場合、所有者の時間とお金の負担をできるだけ軽減する方策を採らないと、発見をもみ消しやしないかと懸念しています。

[2] 【つがる市隕石的孔顔末記】 2017.3.31

<https://togetter.com/li/1095990>

[3] 縣氏の3月30日のTwitterから

### 訂正とお詫び

9月号掲載の<前編>で、3月31日の掘り起こしの現場に小田桐さんと郷土館の方がいたと書きましたが、この日は不在でした。訂正いたします。